

日本にとってのスペインの意義

2025年8月
在スペイン日本国大使館

皇室・王室間の友好関係

- ◆日本皇室とスペイン王室の間で脈々と続く友好関係。
- ◆天皇陛下は計6回スペインをご訪問、国王陛下は計5回日本をご訪問。



国王同妃両陛下の即位の礼ご出席

EU第4位の大国

- ◆人口・経済共にドイツ、フランス、イタリアに次ぐEU内第4位。外客数世界第2位。
- ◆1986年のEC加盟以来、一貫して欧州統合のプロモーターの代表的存在。
- ◆欧州復興基金の補助金受領額(2021年～2023年:727億ユーロ)はイタリアに次ぐ2位。同基金の活用により、デジタル、グリーン産業の強化を目指す。



サンチェス首相

産業・技術における高い国際的競争力

- ◆再エネ: 発電構成における再エネ比率は約57%。再エネ設備容量は欧州第2位。
- ◆インフラ: 世界有数の企業ACSグループ(国際契約額世界第1位)。
- ◆高速鉄道: 路線距離で、中国に次ぐ世界第2位。
- ◆自動車: 生産台数は欧州第2位(第1位はドイツ)。



高速鉄道AVE

歴史的紐帯に基づく中南米についての深い知見

- ◆通信、金融、エネルギー、メディアを中心にスペイン企業の影響力大。
- ◆中南米のほぼ全ての首都に直行便。日本→中南米渡航に活用可。
- ◆スペイン語(話者数約6億人は中国語、英語、ヒンディー語に次ぎ世界第4位。)



EL PAÍS

日本にとっての戦略的意義

- ◆「インド太平洋」への関心・認識の高まり←欧州での対中警戒論、中南米での中国との競争等を背景に、日本の「インド太平洋戦略」への理解が進展。日本との安全保障・防衛政策分野での協力に関心。
- ◆再エネ、インフラ等分野での日スペイン企業との協力←エネルギー安全保障やインド太平洋戦略の実現の観点から、アジア市場での協力を含めグローバル市場での日スペイン企業の協力が高いポテンシャルあり。
- ◆更なる対日理解促進の好機←日本語学習者は増加し欧州第4位(仏、英、独に次ぎ約9400人(2021年))、スペインからの訪日は2024年に過去最高となる18万人超を記録。市民レベルでの交流を飛躍的に伸ばすチャンス。



- **日本皇室とスペイン王室**の伝統的な友好関係は両国関係の強固な基盤。
- 日本とスペインは**基本的価値を共有するパートナー**。2018年の首脳会談(安倍総理(当時)・サンチェス首相)で両国関係を国際社会の諸課題にともに取り組む「**戦略的パートナーシップ**」に。
- 2022年、マドリッドでのNATO首脳会合の際の首脳会談(岸田総理・サンチェス首相)で、「**自由で開かれたインド太平洋**」の実現を含めた協力強化で一致。そのため、**安全保障・防衛政策、経済分野(再生可能エネルギー／水素、グローバル市場での協力等)**等の更なる協力で一致。

1. 安全保障・防衛政策分野での協力

- **スペイン軍と自衛隊の共同訓練**(アデン湾における海賊対処、グアム周辺海域、ジブラルタル沖での共同訓練、**2024年7月「Pacific Skies24」へのユーロファイター派遣、2025年5月～ インド太平洋地域へのフリゲート艦派遣**)
- 初の**防衛駐在官**の配置(2022年3月) ※**スペイン武官の東京常駐開始(2025年～)**
- 防衛当局間協議(2023年4月、**2024年10月**)
- 防衛装備品分野での協力(防衛装備品協定交渉開始(2025年2月～)、DSEIへのスペイン代表団派遣)

2. 経済分野での協力

- **再生可能エネルギー／水素**: 特に、グリーン水素製造が期待されるスペインと、輸送技術や要素技術に強みを持つ日本企業との間での協力が大きな可能性あり→中長期的に**産業競争力強化及びエネルギー安全保障に貢献**
- **グローバル市場における協力**: 中南米のみならず、アジア太平洋等における協働も有望(既に**アジアでも実績あり**)。→日スペイン企業間協力が、「**自由で開かれたインド太平洋**」の実現に貢献
- **貿易**: スペインから日本への輸出額はリーマンショック後の2009年以降増加傾向で推移。特に、**日EU EPA発効後**、豚肉(2024年、対2018年比78%増)、ワイン(同30%増)、オリーブオイル(同23%増)及び自動車(同164%増)で**輸出額増加**。

3. 人的交流分野での協力

- **観光**: スペインからの訪日は過去最高を更新するも、日本からの旅行者はコロナ禍前の約6割水準にとどまる(日→スペイン:約41万人、スペイン→日:約18万人(2024年))
→両国間の直行便の復活(週3便)も契機に、双方向の人流の増加を期待
- **文化交流**: 市民レベルで日本に高い関心(歌舞伎、文楽等の公演は常に満員。アニメ・マンガ等十万人超のイベント多数。豊富な日本酒揃えの店や懐石、B級グルメも出現。日本食関連製品の輸出増(直近約10年で、日本酒は約5.2倍、日本茶は約8.6倍)。)
→さらなる日本文化普及、日本語学習者増を目指し、スペイン各地の友好団体、大学等の取り組みを後押し

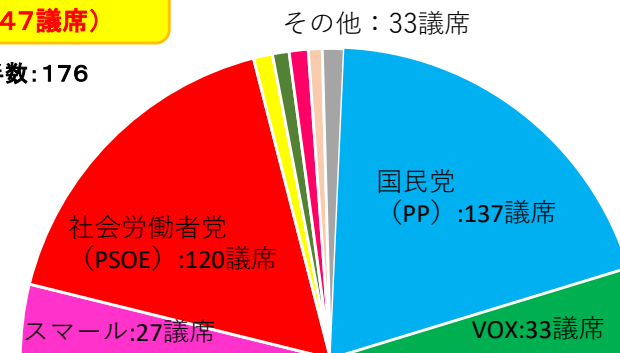


スペイン現政権の構成

- ◆ 2023年11月21日、第3次サンチェス政権が発足。前回政権と同じく連立政権（社会労働者党とスマール）。
- ◆ 地域主義政党の協力を受けて発足するも、少数与党。
- ◆ 首相及び閣僚23名のうち18名が社会労働者党系、5名がスマール系。
3名の副首相職（全員女性）を設置。
- ◆ 男女平等に配慮（閣僚23名のうち11名が女性）。

少数与党
(147議席)

過半数: 176



首相

サンチェス書記長



PSOE
(中道左派)

第2副首相兼 労働・社会経済大臣

ディアス前代表



スマール
(急進左派)

- 社会民主主義的傾向という点は共有するものの、スマールがより社会的な政策（最低賃金上昇、労働時間の削減等）を目指すことや、イスラエル・パレスチナ情勢及び防衛費増を巡って立場の違いが顕在化する場面がある。
- 今次政権は、地域主義政党の協力を得て成立しており、少数与党政権であることから、議会運営に困難が生じている。特にカタルーニャ独立運動に関し有罪判決を受けた者への「大赦法」制定及び地域主義政党への度重なる譲歩は野党及び世論の批判を浴びている。
- サンチェス首相夫人や同首相弟に加え、社会労働者党ナンバー3が更迭されるなど、同首相周辺を巡る汚職問題等、与野党ともに政治汚職を巡る議論が展開されている。

早期解散総選挙の可能性

- 現時点では、与党PSOEの支持率が低下しており、仮に解散総選挙を行えば下野する可能性が高いことから、サンチェス首相（2027年7月任期満了）が選挙に打って出る可能性は低いと見られる。
- 一方、セルダンPSOE幹事長（ナンバー3）が汚職を巡る疑惑によって更迭されるなど、サンチェス首相に対する解散圧力は強まっている。

地方選挙

- 2023年の総選挙後、2024年に入り、2月（ガリシア州・国民党（PP）が単独過半数を獲得）、4月（バスク州：バスク民族主義党（PNV）とPSOEの連立政権）、5月（カタルーニャ州：カタルーニャ社会党（PSC）の少数与党）、6月（欧州議会議員選挙：PPが躍進するも、PSOEも善戦）と選挙が続いた。
- 次回統一地方選挙は、任期満了すれば2027年5月。また、地方選挙としては、2026年にカスティージャ・イ・レオン州及びアンダルシア州議会議員選挙が予定されている。

スペイン内政の特徴

特徴1：中道左派／中道右派の二大政党

- 社会労働者党（P S O E、中道左派、現政権与党）と国民党（P P、中道右派）の2大政党が、70年代の民主化後一貫してスペイン政治の中心を担い、相対的に安定した政治環境であったが、2015年前後から第三政党が出現し、左右どちらの勢力ともに過半数の形成が困難となっている。
- 二大政党間で、外交政策には大きな違いはない。一方、財政政策、エネルギー政策及び独立派地方主義政党との関係に相応の違いあり、支持層もこれら政策への支持・不支持により分かれる。

特徴2：少数左派／少数右派政党の存在及び地域主義政党

- 近年はスペインも多党化傾向。P S O EもP Pも、現時点では単独で議会の過半数を占めることは困難。両党のいずれが第一党となっても、それぞれ少数の急進左派（スマール）または極右（V O X）との連立が必要。
- 一方、第3次サンチェス政権の成立時に見られたように、左右どちらの勢力も議会の過半数を形成することが困難であることから、地域主義政党が政権成立及び議会運営においてキャスティングボードを握る傾向にある。また、与党が議会の過半数を有さないことから、予算案通過にも困難を伴い、2023年予算を暫定的に継続する措置が続いている。

特徴3：地域主義・地方分権・独立運動

- 比較的自治権の強い17の自治州で構成。特に、独自の歴史、言語、民族、自治制度、地域政党を持つとともに、経済の先進地域であるカタルーニャ州とバスク州との関係は、いずれの政権にとっても大きな課題。
- カタルーニャ州では、2012年に独立を標榜する急進的地域主義政党が州議会選挙で勝利して以降、独立の機運が高まり、2017年10月、独立派の州首相が主導し独立を問う「州民投票」を強行したが、独立派内部の主導権争いもあり、州民投票の投票率は43%と予想よりも低かった。一連の独立騒動による混乱により世論がより現実的な政策を求めたことから、2024年5月に行われた州議会議員選挙の結果、初めてカタルーニャ社会党（P S C）が単独第一党となった。6月10日に州議会が開会され、P S CとE R Cの合意により、8月8日イリャP S C党首が州首相として信任され、P S C少数単独政権が成立した。
- カタルーニャ州内における独立運動の機運は低下しているものの、中央政界において独立を掲げる地域主義政党がキャスティングボードを握っていることから、依然として地域主義政党が現政権存続のカギを握っている。
- バスク州では、武力闘争路線で独立を求めていたテロ組織E T Aが、2018年5月3日に解散宣言。2024年4月に行われた州議会議員選挙の結果、穏健な中道地域主義政党であるバスク民族主義党（P N V）とバスク社会党（P S E）の連立政権が成立。中央政府にとって、同州地域主義政党と良好な関係を築くことが政権運営の鍵。



基本的姿勢

①EUへの貢献②開かれた経済③二国間関係の強化④多国間主義とその改革をスペイン外交の基本原則とする。(2025年、大使会議におけるサンチェス首相訓示)

個別地域での取組: その1 欧州、中南米、マグレブ・中東

EU重視、欧州統合強化重視の姿勢を維持。欧州でも各国の「結節点となる国(pais nodal)」を標榜。

- 欧州統合強化(経済・通貨統合、銀行同盟)を重視。欧州共同での移民・難民問題への対応及びエネルギー政策の改革を主張。防衛面での結束強化。
- EU5大国の一員として、他の欧州諸国との対話を積極的に進める(東欧諸国とはウクライナ戦争、南方諸国とは移民問題等)。欧州拡大路線を支持。
- EUと中南米・マグレブをつなぐ架け橋としての立場を活かし、EUの対中南米外交及び対アフリカ外交に積極的に関与。
- ウクライナ情勢では、EUによる制裁に参加、NATOの枠組みでの武器供与、人道支援、ウクライナ兵訓練等を実施し、2024年5月ゼレンスキー大統領がスペインを訪問し、二国間合意文書に署名。なお、ウクライナへの派兵に関しては慎重な姿勢。
- 2025年6月、セビージャにて、第4回開発資金国際会議(FfD4)を開催し、同会議は持続可能な開発目標(SDG)推進のための資金調達目標を設定。
- 多国間主義の枠組みを支持し、積極的に国連機関への拠出を行うとともに、女性の声を届けるためのフェミニズム外交を掲げる。また、デジタル移行、気候変動等の課題に対処するため、より効果・包括的な多国間主義を目指す改革を訴える。

ラ米・カリブ: 歴史的・文化的繋がりが強く重視。EU議長国として関係強化

- 同地域をスペインのアイデンティティと対外政策の核心となる要素と位置付ける。
- イベロアメリカ首脳会合(2023年3月)、EU・CELAC関係強化(2023年7月にブリュッセルで首脳会合)、EUとメルコスールとのFTAを通じたラ米地域の統合推進の主導を目指す。2026年、マドリッドにてイベロアメリカ首脳会合開催予定。
- 共通の価値観と利益に基づき、スペインは同地域と協力し、マルチフォーラム等における主要な議論において集団的な影響力の拡大を目指す。



サンチェス首相と
フォン・デア・ライエン欧州委員会委員長との会談

マグレブ・中東: EUは東方のみならず南方(北アフリカ)に一層目を向けるべきとのメッセージを発信

- マグレブ諸国と地理・歴史的繋がりが強く、中でもモロッコを重視。西サハラ問題において、モロッコの自治権を現実的と評価したことで、アルジェリアとの関係が悪化、モロッコ、アルジェリア関係における困難なかじ取りが求められる。
- 増大するアフリカからの不法移民への対応が大きな課題。イスラム過激派によるテロ対策を重視するとともに、移民送り出し国となる西アフリカ諸国との、経済開発等を含めた協力関係を模索。
- パレスチナ情勢において、「二国家解決」のための国連の取組を支持し、2024年5月パレスチナを国家承認。スペインにおける中東和平会合開催の可能性を模索し、アラブ連盟等、グローバルサウス諸国と西洋諸国の橋渡しの役割を担う。



個別地域での取組: その2 米国、サブサハラ、アジア太平洋

米国: 欧州及び二国間レベルでの関係強化

- 「米国との関係は近年のスペインの対外政策におけるプライオリティ」(スペイン対外活動戦略2025-2028)
- 1953年、西米軍事協定を締結、米国はスペインにとって伝統的に重要な同盟国。ロタ海軍基地及びモロン空軍基地を米軍と共用(米軍が駐留)。2023年、米は駆逐艦2隻の追加配備が決定。
- 第二次トランプ政権誕生以降、防衛産業強化等、欧州の戦略的自律性強化を図る方針。また、NATO加盟国中最低水準の防衛費を拡大することが求められている。



ロタ基地

サブサハラ: 今後の経済成長、人口増加を見越し、関係強化を模索

- 累次にわたり地域戦略を策定しており、直近では2025年「アフリカ戦略2025～2028」を発表。個別の国ごとではなく、アフリカ大陸全体を包括した対話促進・開発協力戦略示すとともに、北アフリカ、西アフリカ及びサヘル地域を重点地域として指定。
- 2024年8月、サンチェス首相が、モーリタニア、ガンビア、セネガルを訪問し、移民対応における二国間関係の強化を図る。2025年7月にはモーリタニアを再度訪問。

アジア太平洋: スペイン外交の新たな重点地域

- 日本と韓国を民主主義の価値観と共通の利益で結ばれたパートナーと位置付け、海上安全保障への脅威や北朝鮮の核拡散に伴うリスクに対処するため、安全保障と防衛分野の協力を深化させることを目指す。
- 2022年6月のNATO首脳会議出席のため岸田総理が訪西。その際の日西首脳会談において、サンチェス首相は、日本との「戦略的パートナーシップ」の活性化への期待、インド太平洋におけるEUの関与の重要性を強調。スペインが策定に貢献した「インド太平洋における協力のためのEU戦略」が採択されたことに対する満足の意を示した。
- 中国とは経済関係の強化を重視。EUと中国の関係について、意見の相違が協力を損なうことがないよう、両者の関係を擁護する役割を担う。2018年に習近平国家主席がスペインを国賓訪問。2021年6月、二国間戦略的パートナーシップに係る共同宣言を発表。サンチェス首相は、外交関係樹立50周年を迎えた2023年3月、2024年9月及び2025年4月に訪中。
- インドの国際秩序における影響力拡大に伴い、優先的に支援する意向。EU-インドの戦略的パートナーシップの強化、自由貿易協定や投資保護に関する交渉の早期妥結への貢献を目指す。
- ASEANについては友好協力条約への署名を目指し、ASEAN協力パートナーへの昇格実現を掲げる。
- アジアにおける主導的役割を目指し、2025年夏の発表に向け、「アジア戦略」を作成中。



「日本は、インド太平洋地域の中心性を最も積極的に推進している国の一つである。EUの戦略コンパスは、ルールに基づく国際秩序を基盤とする日本の「自由で開かれたインド太平洋」ビジョンと一致する。」
(2022年6月アジアに関する講演)



安全保障環境

- ①周辺には明確な敵となる対象国は存在しない（1927年、対モロッコ戦争以降対外戦争の経験なし。内戦の経験あり）。NATO南部における空海安全保障の要として役割（高い空域監視能力。イージス艦の配備）。
- ②国際ミッションへの参加を重要視（NATOが定める参加目標の20%を上回る参加率）
- ③ウクライナ戦争開戦当初から一貫して支援を継続（武器供与、医療支援、ウクライナ兵の訓練等）。

スペイン軍の方針・能力等

国防方針

- 多国間主義に基づきEUの安全保障政策に則り、NATOにおける役割を補完。
- 自国の主権保護（サーバー空間、宇宙空間（航空・宇宙軍に改称）における安全保障も含む）。
- 国際ミッションへの参加（アフリカ、中東対策（マリ、レバノン等）、地中海の海上安全、海賊対策（ソマリア等）。
- 国内防衛産業への支援（防衛産業の項参照）。
- 緊急展開部隊（UME）による災害対応（火山、山火事、水害（2024年バレンシア州で大規模水害発生））。



ロブレス国防大臣の部隊視察

組織・編成

- フェリペ6世国王陛下が陸海空全軍の最高司令官（現在、王位継承順位1位のレオノール皇太女は軍人としての教育課程に在籍中）。
- ロブレス国防大臣の下、制服組（国防参謀本部長、各軍参謀本部長）を含む国防省が構成され、国家情報センター（CNI）も国防省傘下の組織。
- 兵員：約12.5万人（陸：約8万人、海・空各2.2万人）。
- 国内各地に基地を有し、ロタ海軍基地（NATOの対弾道ミサイル戦略）及びモロン空軍基地は米軍と共同運用。スペインは米国の欧州及び中東戦略の重要拠点。



国王陛下のバレンシア水害視察

国防予算等

- 2023年度：12.8億ユーロ（約1.9兆円）*GDP比1.28%はNATO加盟国中最低水準。（注：2024年及び2025年度は暫定予算のため2023年度と同じ予算額）。
- 2029年を目標に定めていた対GDP比2%目標の達成を2025年に前倒しする旨発表するものの、サンチェス政権は少数与党であり、防衛費増に反対する左派系協力政党の反対により難航。
- 2025年ハーグNATO首脳会合にて、サンチェス首相は対GDP比5%の防衛費目標を、「福祉国家スペイン」が進める社会政策との両立が困難であるとして拒否する意向を示すとともに、NATOの求める軍事能力目標を達成するには2.1%の支出で可能であると主張。その後、トランプ大統領はサンチェス首相及びスペインを名指しで批判し、関税を2倍にする報復措置をとる姿勢を示す。ただし、サンチェス首相は最終的にNATO首脳会合における合意をブロックすることにはせず。



国際ミッションにおける貢献

- 国内のロタ海軍基地（対弾道ミサイル戦略）及びバレンシア陸軍基地（緊急展開部隊）にNATO部隊が駐留。
- 防衛費負担が少ないという批判を受けるも、スペインは国連、EU及びNATOの国際ミッションに積極的に参加（NATOが定める目標の20%を上回る参加率）しており、防衛費以外での貢献を強調（16のミッションに参加、最大同時派遣隊員数3千名）、2024年には延べ1万5000名の兵士が参加。主な参加ミッション：ギニア湾及びソマリア沖における海賊対策（アタランタ作戦）、バルト海空域パトロール、NATO東域（スロバキア及びルーマニア）への派遣、国連レバノン暫定軍（UNIFIL）



ロタ海軍基地

ウクライナ支援

- ウクライナ戦争開始当初から一貫して支援を継続。2024年にゼレンスキー大統領がスペインを訪問し、「二国間安全保障・防衛合意」を締結し、10億ユーロの支援に合意（2025年にも10億ユーロの追加支援を発表）。
- 欧州第4位のウクライナ難民受け入れ国：23万6千人。
- 武器供与、負傷兵に対する医療支援（スペインの病院での受け入れ）、ウクライナ兵の訓練（地雷除去等）、人道支援、復興支援等、様々な支援を行う。
- 主な武器供与：対戦車ロケット（C-90）、地対空ミサイル（アスピデ及びホーク）、戦車（レオパルド）等。



2024年 ゼレンスキー大統領訪問
二国間首脳会談

防衛産業

- 第2次トランプ政権誕生以降、EUの戦略的自律性を高める観点から、欧州防衛産業の基盤を強化する必要性があり、各国の軍の相互運用性及び調達手続きの改善を主張。
- 欧州防衛産業の保護、自律性の観点から米国製F-35の購入計画を停止。
- 2025年内に対GDP2%の防衛費目標を達成するため、「安全保障・防衛のための産業・科学技術計画」を発表し、104億7100万ユーロの投資を行い、全体の87%を国内防衛産業へ振り分ける意向を示す。また隔年でFEINDEF（防衛装備品見本市）を開催し、自国防衛産業の海外展開に対する支援を行う。スペインは世界第8位の武器輸出国。
- 主な防衛企業：インドラ社（FCASのスペイン・プライム企業）、ナバンティア社（国営造船企業、オーストラリアに造船所を所有）、エアバス等。



経済規模・概況

- 人口約**4,800万人** (EUの約10.7%)、GDP約**1.5兆ユーロ** (1.6兆ドル)、一人当たりGDP約**3.3万ドル** (2023)
- 人口、経済規模ともに独、英、仏、伊に次ぐ**欧州第5位**。G20のアルゼンチン、トルコ等よりも経済規模大。
- 2000年には伊と2倍あったGDPの差が**1.4倍まで縮まり**、一人当たりGDPでも1.4倍あった差が**1.2倍弱まで縮小**。
- コロナ禍後の観光業の好況もあり、足元では底堅い成長を維持(2024年の実質経済成長率は3.2%)。
- 失業率(2024)は11.4%であり、若者に限れば24.9%と高いものの減少傾向。また、少子化は深刻で特殊出生率(2024)は1.12(日本1.15、韓国0.75)。

主要産業等

製造業

- バスク州などの北部の重工業地域を元々有し、欧州において比較的安い労働力を供給。**自動車製造業などの工場が多く立地**(自動車生産台数はドイツに次ぐ**欧州第2位**: GDPの**10%**)。VW傘下のスペイン自動車メーカーSEAT



農業・水産業

- 欧州有数の農業国、食糧自給率はカロリーベースで82%、特に**オリーブ世界第1位**、**ワイン世界第3位**、**漁獲量欧州第1位**。対日輸出主要品目は、豚肉(生ハム含む)、オリーブオイル、かつお・マグロ類等



観光業

- 地中海沿岸のリゾート地及びグラナダ・バルセロナなど世界有数の観光地があり、外国人観光客の受入数が**世界第2位**(GDPの13%)と観光大国の地位(国連世界観光機関(UN Tourism)の本部あり)。

今後の重点産業

- スペイン政府は、将来のスペイン経済の成長を支える分野として**デジタル化**と**グリーン投資**を重視。

高い国際競争力

- インフラ分野や鉄道分野のスペイン企業は、小さな国内市場で技術を培い、**海外の将来有望な市場に展開**。
- 国内よりも海外での売上が大きい分野**も出ており、スペインの経済活動の国際化の下地に。
- 日本企業と競合するようにも見えるが、実際には、**スペイン以外の市場でスペイン企業と日本企業が共同して案件獲得する事案も**。

再生可能エネルギー／水素

- 発電構成における再エネ比率は約**57%**(24年)。再エネ発電容量は**欧州第2位**(23年)。安定した風況による風力発電、欧州内では日照時間の長さから太陽光発電のポテンシャル高い。Iberdrola(**年間売上の7割は海外事業**)等の総合エネルギー会社は、**欧州、北中南米、豪州でも再エネ事業実施**。
- 政府は、**再エネを利用したグリーン水素関連産業**を将来の成長分野として推進。総合エネルギー会社(Iberdrola、CEPSA等)は、統合運営技術に優れ、多くのプロジェクトを推進中。



インフラ

- 世界有数のゼネコンACSグループ(**国際契約額世界第1位**)を持つなど、インフラ建設分野での実績大。**南米、北米地域に強み**。建設業協会加盟企業の年間売上の**8割は海外事業**。

鉄道

- 車両製造で海外輸出の実績あり。スペインの高速鉄道は仏TGVの技術導入だが、路線距離では、中国に次ぐ**世界第2位**(欧州では第1位)。**鉄道協会会員企業の年間売上の8割は海外事業**

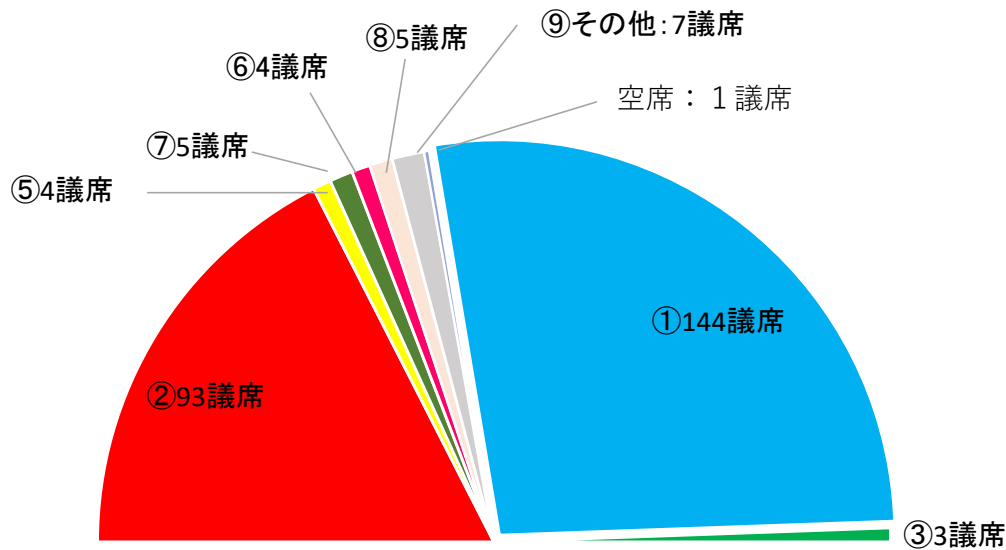
情報通信

- テレフォニカは**世界有数の通信事業者**。もともと**中南米に強み**があるが、近年は**欧州市場にも展開**。

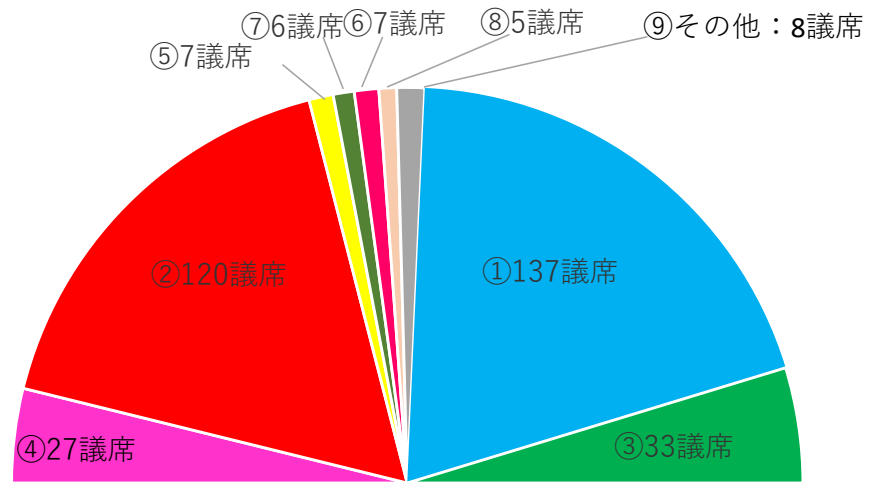
スペイン上下両院 議席構成

2025年8月
在スペイン大使館

上院 (議席数: 266議席)



下院 (議席数: 350議席)



主な政党の党首等の顔ぶれ



① 国民党 (PP)
(中道右派)
フェイホー党首



② 社会労働者党
(PSOE)
(与党: 中道左派)
サンチェス書記長
(首相)



③ VOX
(右派)
アバスケル党首

④ スマール
(与党: 左派連合)
ディアス第二副首相
が代表を辞任後、
代表不在



⑤ カタルーニャ
共和左派 (ERC)
(独立派)
ジュンケラス党首



⑥ 共にカタルーニャ
(Junts) (独立派)
プッチダモン党首



⑦ EHビルドゥ
(バスク州・独立派)
オテギ代表



⑧ バスク民族主義党
(PNV) (独立派)
エステバン党首

スペイン議会（二院制）

2025年8月
在スペイン大使館

上院（議席数：266議席）

- ✓ 地方を代表する議会
- ✓ 任期：4年（解散制度あり）
- ✓ 議席数：266議席
- ✓ 議員選出方法：
 - ①選挙区選出議席（直接選挙）：208議席
 - ・非拘束名簿式比例代表制選挙
 - ・選挙区：県（47）、島（10）、自治市（2）。
 - 人口比により、各選挙区1～4議席。
 - ②州議会選出議席（間接選挙）：58議席
 - ・州議会の任命により選出され、上院に派遣。
 - ・人口比により、各州1～9議席。



下院（議席数：350議席）

- ✓ 任期：4年（解散制度あり）
- ✓ 議席数：350議席
- ✓ 議員選出方法：
 - ・拘束名簿式比例代表制（ドント式）
 - ・選挙区：県（50）、自治市（2）
 - ・人口比により、各選挙区1～36議席。



- 直近の上下両院議員選挙は2023年7月23日に実施された。
- 通常会期は2月～6月、9月～12月。必要に応じて臨時会期が召集される。

スペイン上院、下院の違い

◎ スペイン議会では、下院の優越が広範に認められている。

上院

- ✕ 法案の先議権
- 下院で可決された法案の否決又は修正
- ✕ 内閣不信任決議案の議決
- ✕ 首相選出投票
- ✕ 国民投票実施の事前承認
- 上院議員の州議会議員との兼任
- 憲法・法律上の義務を履行しない州に対し政府が採る強制措置の承認

下院

- 法案の先議権
- 上院で否決又は修正された法案の再可決
- 内閣不信任決議案の議決
- 首相選出投票
- 国民投票実施の事前承認
- ✕ 下院議員の州議会議員との兼任
- ✕ 憲法・法律上の義務を履行しない州に対し政府が採る強制措置の承認

※ その他、「組織法の制定・修正・廃止」「緊急事態宣言の事前承認」「首相提出の信任決議案（首相の政策や政治的方針につき信任の有無を確認するための決議）の議決」等の権限は、下院のみに認められている。

※ 下院議員数は、1985年以降選挙法により350人と定められている。上院議員数は、人口の変化に応じて変動し、上院議員数の変更は、選挙が実施される年の1月1日に発表される人口調査に基づいて、国政選挙実施後に行われる。

令和 7 年 8 月 15 日
 調査及び立法考査局
 政治議会調査室・課

スペインの議会概要

1 政治体制

国王を元首とする立憲君主制（1978 年憲法では「議会君主制」と規定）である。現在の国王は、2014 年 6 月に即位したフェリペ 6 世（Felipe VI）である。

議院内閣制を採り、内閣はその政策遂行につき、代議院（Congreso de los Diputados. 以下「下院」という。）に対して連帯して責任を負う。内閣は、首相、副首相（設置は任意）、大臣その他の閣僚で構成される。首相は、国王が下院の各会派の代表者と協議した上で推薦した候補者を下院が絶対多数によって信任した場合に、国王によって任命される。首相候補者の信任投票の開始後、2 か月以内に下院の信任を得られた候補者がいない場合、国王は両院を解散する。国王は、首相の提案に基づいて、その他の閣僚を任免する。下院において内閣不信任決議案が提出される場合、あらかじめ後任の首相の候補を決めておく必要がある（建設的不信任制度）。国王は、首相の提案に基づいて、議会の一院又は両院を解散することができる。

現在の首相は、2018 年 6 月に就任した社会労働者党のペドロ・サンチェス・ペレス・カステホン（Pedro Sánchez Pérez-Castejón）首相であり、政府は、社会労働者党及び左派連合スマールから成る連立政権である。

2 議会の構成

議会は、下院と元老院（Senado. 以下「上院」という。）から成る。上院は、憲法上「地域代表の議院」と位置付けられている。

(1) 定数及び任期

<下院>定数 350 人。任期は 4 年で、解散がある。

<上院>定数 266 人（直接公選議員 208 人＋自治州任命の議員 58 人）。任期は 4 年で、解散がある。

解散は、両院又は一院のみについて行うことができるが、解散・選挙は両院同時に行われるのが慣例になっている。直近の総選挙は、2023 年 7 月に実施された。

(2) 選挙制度

<下院>原則として県を単位とする拘束名簿式比例代表制である。ただし、選挙区定数が 1 人である 2 自治市では、単純小選挙区制となる。選挙権年齢及び被選挙権年齢は、共に 18 歳である。

（凡例）人名については、我が国の報道等で用いられている呼称に下線を付した。

<上院>直接公選議員の選挙制度は、原則として大選挙区制限連記制である。ただし、選挙区定数に応じ、単記と連記の別又は連記可能な候補者数が異なる。選挙権年齢及び被選挙権年齢は、共に18歳である。自治州任命の議員は、17自治州の議会（議会を欠く場合は、自治州最高合議制機関）によって任命される。配分議席数は、基本的には各自治州に1とし、人口が100万人ごとに1ずつ追加する。

(3) 会派別議席数

現在の会派別議席数は、次表のとおりである。

表 ス페인議会の会派別議席数（2025年8月現在）

下院		上院	
会派名	議席数	会派名	議席数
国民党	136	国民党	144
社会労働者党	119	社会労働者党	89
ボクス	33	独立のための左派（共和左派—エウスカル・エリア・ビルドゥ）	9
スマール	26	上院の複数政党（ジュンツ・パル・カタルーニャーカナリア連合—イエーロ独立グループ—ガリシア民族主義ブロック）	7
共和主義	7	バスク国民党	6
ジュンツ・パル・カタルーニャ	7	左派連盟	6
エウスカル・エリア・ビルドゥ	6	混合会派	4
バスク国民党	5	欠員	1
混合会派	9		
欠員	2		
合計	350	合計	266

（凡例）混合会派は、会派要件（選挙後初めて集会した議会の冒頭に構成員が15人（下院）又は10人（上院）いること等）を満たさない議員グループ及び会派に属しない議員で構成される。

（出典）“Grupos parlamentarios.” Congreso de los Diputados Website <<https://www.congreso.es/es/grupos/composicion-en-la-legislatura>>; “Summary of Parliamentary Groups (current composition).” Senado de España Website <<https://www.senado.es/web/composicionorganizacion/gruposparlamentarios/composiciongruposparlamentarios/index.html>> を基に担当者作成。

3 会期制度

会期制を採る。常会と臨時会がある。常会は毎年2回開かれ、第1会期は9月から12月まで、第2会期は2月から6月までである。臨時会は、内閣、常設議員団（後述4参照）又はいずれかの議院の絶対多数の議員の要求により召集される。召集は、いずれも国王が行う。

4 議院運営機関

各議院において、議長、副議長（下院は4人、上院は2人）及び書記担当議員（4人）により、理事部が構成され、議院の運営・管理を行う。副議長は、議長が不在の際、その職務を代

行する。また、各議院には、各会派から所属議員数に応じて選出される 21 人以上の議員から成る常設議員団が設置される。常設議員団は、各議院の議長が主宰し、その主な権限は、臨時会の開催を要求すること、議院が解散され又は任期満了となった場合に各議院の権能を行使すること等である。

現在の下院議長は、社会労働者党のフランシナ・アルメンゴル (Francina Armengol) 議長、上院議長は、国民党のペドロ・ロラン (Pedro Rollán) 議長である。

5 立法過程

(1) 法律案の提出

法律案の提出権は、政府、下院、上院のほか、自治州議会が有する。下院では 14 人の他の議員の賛同を得た議員又は会派が法律案を提出でき、上院では 25 人の議員又は会派の署名により法律案を提出できる。政府提出法律案は、下院に提出される。また、50 万人以上の署名を得るといった要件を満たした場合に国民が法律案の提出を求めることができる国民発案の制度がある。ただし、国民発案は、組織法、税制、国際関係、恩赦大権に関する事項は対象外である。

(2) 委員会への付託

下院では、提出された法律案は所管の委員会に付託される。法律案の公開後 15 日以内に、議員又は会派は修正案を提出することができる。全部修正案は会派のみが提出することができる。これが提出された場合は本会議においてその審議・表決が行われる。

上院では、法律案の公開後 10 日以内に、議員又は会派は修正案を提出することができる。否決の動議又は修正案が提出されない場合、法律案は委員会に付託されず、本会議で直接審議される。

(3) 委員会審査

委員会において、法律案の逐条審査等が行われる。既に提出された修正案と原案の調整を図ることを目的とした修正案、技術的な誤り等に関する修正案は、委員会審査の段階においても提出できる。

(4) 本会議審議

委員会審査の後、法律案は本会議で審議される。技術的な誤り等に関する修正案は本会議審議の段階でも提出できる。下院では、既に提出された修正案と委員会報告書との調整を図ることを目的とした修正案（提出済みの修正案の撤回を伴うものに限る。）は、各会派が反対しない場合、本会議審議の段階でも提出できる。上院では、一定の要件の下で、本会議審議の段階でも委員会報告書の修正案を提出できる。

(5) 両院関係

法律案は、両院を通過すると国王の裁可に付される。

両院の権限は対等ではなく、政府提出法律案は下院先議とされる。法律案の議決等においても下院の優越が認められており、上院が法律案を可決しない場合についても、下院での可決後

に次のいずれかの要件を満たすときは、当該法律案を国王の裁可に付することができる。①上院が法律案を絶対多数により否決した場合は、下院が絶対多数により可決すること。②法律案の上院への送付後2か月が経過しても上院が議決を行わない場合は、下院が単純多数により可決すること（ただし、この上院に認められた2か月の審議期間は、政府又は下院が法律案を緊急のものと宣言した場合、20日に短縮することができる。）。③上院が法律案の修正を議決した場合は、下院が単純多数により当該修正を可決又は否決すること。

(6) 国王の裁可・審署

国王は、可決された法律を、15日以内に裁可・審署し、公布する。

【参考文献】

- Congreso de los Diputados Website <<https://www.congreso.es/es/home>>
- Senado de España Website <<https://www.senado.es/web/index.html>>
- Constitución Española Website <<https://app.congreso.es/consti/index.htm>>

令和 7 年 8 月 15 日
 調査及び立法考査局
 政治議会調査室・課

スペインにおける連立政権

1 連立政権の仕組み

(1) 政党システムの変容

スペインでは、長期間独裁体制を敷いていたフランシスコ・フランコ (Francisco Franco) 総統が 1975 年に死去したことを契機とする民主化の開始以降、2020 年 1 月まで、連立政権は樹立されず、中道左派政党のスペイン社会労働者党 (PSOE) 又は中道右派政党の国民党 (PP) が単独多数政権又は単独少数政権を樹立してきた。少数政権の場合は、下院で議席を獲得しているカタルーニャやバスクの地域政党等に閣外協力を求めて政権運営が行われてきた¹。

しかし、2015 年の総選挙では、前述の 2 大政党が占める代議院 (下院) の議席率が約 51% に下落し (2011 年総選挙では約 73%)、新興政党である、左派のポデモスと右派の市民党が合わせて約 38% の議席を獲得した。さらに 2019 年 4 月の総選挙では、右翼政党の VOX が下院で議席を獲得した。スペインでは 2015 年以降、政党システムの変容が指摘されており²、近年、連立政権の形成が余儀なくされる状況になっている。

(2) 首相選出手続等

首相の信任は、下院で行われるが、下院に首相候補を推薦するのは国王である。総選挙後、国王は、下院各会派の代表と会談の上、首相候補を決定する。通例では、下院で最大議席を持つ会派の代表が推薦される。当該候補の施政方針演説と質疑の後、信任投票が 2 回まで行われる。信任の成立には、1 回目の投票において下院議員の絶対多数の賛成を要し、これに満たない場合は 48 時間以内に実施される 2 回目の投票において単純多数の賛成を要する。2 回目の投票でも賛成が単純多数に届かない場合は、下院での 1 回目の信任プロセス開始から 2 か月以内に、国王が首相候補を下院に推薦し、下院が信任不信任を決定するプロセスの実施が 1 度だけ認められる。その際も 1 回目は絶対多数、2 回目は単純多数で信任が成立し、成立しない場合は、国王により両議院が解散され、総選挙が実施される³。

2 2019 年選挙以降の連立政権の成立過程

(1) 第 2 次サンチェス内閣の発足 (2020 年 1 月 13 日)

2019 年 4 月 28 日の下院総選挙 (定数 350 議席) の結果、PSOE は 123 議席 (カタルーニャ社会党を含む。以下、同様。)、PP は 66 議席、市民党は 57 議席、統一ポデモス (UP: 統一左翼等、左派小政党とポデモスで構成される政党連合) は 42 議席、VOX は 24 議席、カタルーニャ独立主義穏健派であるカタルーニャ共和左派 (ERC) ・主権主義者は 15 議席を得たが、過半数

¹ Bonnie N. Field, "Spain: Single-Party Majority and Minority Governments," Torbjörn Bergman et al., eds., *Coalition Governance in Western Europe*, Oxford: Oxford University Press, 2021, p.544; 永田智成「スペイン政治における新興政党登場の意味—二大政党制から多党制へ?—」『南山大学紀要『アカデミア』社会科学編』25 号, 2023.6, p.53.

なお、内閣に対する建設的不信任制度の存在や上院の権限が比較的小さいこと等が、少なくとも 2015 年までは、少数政権であっても政権を比較的長期間維持できる要因であったとの指摘がある。 *ibid.*, pp.545-549.

² 同上, p.53.

³ Field, *op.cit.*(1), pp.546-547; 加藤伸吾「2023 年スペイン総選挙—極右含むポピュリズムの後退と世界の自由民主主義への教訓—」2023.10.19. グローバル・ガバナンス研究センターウェブサイト <<https://ggr.hias.hit-u.ac.jp/2023/10/20/2023-general-elections-in-spain/>>

の議席を得る政党はなかった⁴。

国王は、同年 5 月の地方選挙及び欧州議会選挙を待って、6 月に政党の代表者と会合を開始し、同月 6 日にペドロ・サンチェス (Pedro Sánchez) 暫定首相⁵を首相候補として議会に推薦した⁶。サンチェス暫定首相は、UP 等の協力を得ようと交渉を行ったが決裂し、同年 7 月 23 日の信任投票では、賛成 124 票、反対 170 票、棄権 52 票で信任を得られず、同月 25 日の 2 回目の投票でも賛成 124 票、反対 155 票、棄権 67 票で信任を得られなかった⁷。国王は、同年 9 月に再度、首相候補の推薦を試みたものの、下院議員の絶対多数の賛成を得られる候補者はいないと判断し、候補者を推薦せず⁸、両院を解散し、総選挙を実施する旨の勅令に署名した⁹。

同年 11 月 10 日の下院総選挙の結果、PSOE は 120 議席、PP は 89 議席、VOX は 52 議席、UP は 35 議席、ERC・主権主義者は 13 議席、市民党は 10 議席を得た。左派政党が議席を減らす一方、VOX が急伸した。

同月 12 日、サンチェス暫定首相とポデモス党首であるパブロ・イグレシアス (Pablo Iglesias) は、連立政権の樹立に関する予備合意に署名した¹⁰。関連各党内で当該合意について党员投票が行われ、承認が得られた¹¹。同年 12 月 11 日、国王は、サンチェス暫定首相を首相候補に推薦することを決定した¹²。また、信任投票の 2 回目において単純多数を得るため、ERC 等に信任投票への棄権を取り付ける交渉等も行われた。2020 年 1 月 5 日の信任投票では、賛成 166 票、反対 165 票、棄権 18 票、欠席 1 票で信任は得られなかったものの、同月 7 日の 2 回目の投票では、賛成 167 票、反対 165 票、棄権 18 票で信任された¹³。同月 13 日に PSOE と UP による連立政権が発足した¹⁴。

(2) 第 3 次サンチェス内閣の発足 (2023 年 11 月 21 日)

2023 年 7 月 23 日の下院総選挙 (定数 350 議席) の結果、PP は 137 議席、PSOE は 121 議席、VOX は 33 議席、スマール (UP と、ポデモスから分離していたマス・ピースの政党連合) は 31 議席、ERC は 7 議席、カタルーニャ独立主義急進派であるジュンツは 7 議席を得た。

⁴ 本報告における選挙結果は、スペイン内務省ウェブサイト <<https://infoelectoral.interior.gob.es/>> による。なお、スペインにおける政府形成には上院の影響は少ないとされるため、上院における各党の議席状況は省略する。 *ibid.*, p.545.

⁵ 内閣は、総選挙実施後に総辞職し、新内閣発足までその職務を遂行することになっている。2019 年 4 月総選挙実施後から新内閣発足まで、同選挙前に第 1 次内閣を率いたサンチェス首相が暫定首相としてその職務を遂行した。

⁶ Irene Castro et. al., “Pedro Sánchez recibe el encargo del rey de formar Gobierno tras una ronda de consultas sin sumar apoyos,” 2019.6.6. elDiario.es website <https://www.eldiario.es/politica/pedro-sanchez-encargo-gobierno-consultas_1_1517087.html>

⁷ “Pedro Sánchez se someterá el jueves a una segunda votación de investidura,” 2019.7.23. El Moncloa website <<https://www.lamoncloa.gob.es/presidente/actividades/Paginas/2019/230719-votacion.aspx>>; “Sánchez no recaba los apoyos necesarios para ser investido presidente,” 2019.7.25. *ibid.* <<https://www.lamoncloa.gob.es/presidente/actividades/Paginas/2019/250719-investidura.aspx>>

⁸ Juande Portillo, “El Rey no propone candidato a la investidura y España se aboca a elecciones,” 2019.9.17. Cinco Días website <https://cincodias.elpais.com/cincodias/2019/09/17/economia/1568741248_765389.html>

⁹ Javier Casqueiro y Miquel Alberola, “El Rey firma la disolución de las Cortes y la convocatoria de elecciones el 10-N,” 2019.9.24. El País website <https://elpais.com/politica/2019/09/23/actualidad/1569260362_423557.html>

¹⁰ Carlos E. Cué y José Marcos, “Sánchez e Iglesias alcanzan un acuerdo para formar un Gobierno de coalición,” 2019.11.12. El País website <https://elpais.com/politica/2019/11/12/actualidad/1573560059_012843.html>

¹¹ 例えば、PSOE については、次を参照。“El 92% de la militancia apoya el preacuerdo para que España tenga un gobierno progresista,” 2019.11.23. Partido Socialista Obrero Español website <<https://www.psoe.es/actualidad/noticias-actualidad/el-92-de-la-militancia-apoya-el-preacuerdo-para-que-espana-tenga-un-gobierno-progresista/>>

¹² Paloma Esteban, “El Rey propone a Sánchez como candidato a la investidura a la espera del apoyo de ERC,” 2019.12.11. El Confidencial website <https://www.elconfidencial.com/espana/2019-12-11/rey-propone-sanchez-candidato-investidura_2373247/>

¹³ 田中理「スペインは連立政権発足へ—再々選挙は回避も、政権基盤は極めて脆弱—」2020.1.6. 第一生命経済研究所ウェブサイト <<https://www.dlri.co.jp/pdf/macro/2019/tanaka200106spain.pdf>>; 「スペイン議会が暫定首相信任、連立政権発足へ」2020.1.8. ロイターウェブサイト <<https://jp.reuters.com/article/world-idUSKBN1Z7006/>>

¹⁴ 伊藤裕規子「急進左派と連立の第 2 次サンチェス政権が発足」『ビジネス短信』2020.1.16. 日本貿易振興機構 (JETRO) ウェブサイト <<https://www.jetro.go.jp/biznews/2020/01/6c5307ab32ed80eb.html>>

同年 8 月 21 日、国王は、慣例に従って、第 1 党である PP のアルベルト・ヌニェス・フェイホー（Alberto Núñez Feijóo）党首を首相候補として下院に推薦することを決定した¹⁵。同年 9 月 27 日の信任投票では賛成 172 票、反対 178 票で、同月 29 日の投票においても賛成 172 票、反対 177 票、無効票 1 票で信任を得られなかった¹⁶。同年 10 月 3 日、国王は、サンチェス暫定首相を首相候補として下院に推薦することを決定した¹⁷。PSOE は、PP 陣営が 172 票を確保していると見られることから、信任投票の際に主にカタルーニャの地域政党に棄権ではなく賛成を求める必要があり、支持を得る見返りに、2017 年にカタルーニャ独立を一方向的に宣言して反乱罪等に問われている元同州知事らに恩赦を与えることで合意した¹⁸。関係各党内での党員投票による承認を経て¹⁹、2023 年 11 月 16 日、サンチェス候補に対する信任投票が行われ、賛成 179 票、反対 171 票で信任された²⁰。同月 21 日に PSOE とスマールの連立政権が発足した²¹。

3 連立政権下の合意形成

民主化以降の連立政権の事例は、サンチェス首相が率いる第 2 次内閣及び第 3 次内閣のみであるが、両内閣とも、各党間で、約 50 ページに及ぶ連立協定書²²及び当該連立協定書の運用、調整、進捗状況の監視等に関する議定書が締結されている²³。第 2 次内閣においては、連立協定監視委員会が設立され、定期的に会合を開いて状況を評価し、また、執行部内での対立や特定の問題に関して重大な意見の相違が生じた際にも（ほとんどの場合、UP の要請により）会合が開催された。一方、政府が数十億ドルの軍事費支出を UP に通知することなく承認した際、連立協定監視委員会の緊急会合の開催が要請されたものの、会合は開催されなかったという事例もあった²⁴。

¹⁵ 加藤 前掲注(3)

¹⁶ Aitor Riveiro et al., “Feijóo fracasa en la primera votación de su investidura frente a la mayoría absoluta del Congreso,” 2023.9.27. elDiario.es website <https://www.eldiario.es/politica/mayoria-absoluta-congreso-rechaza-primer-investidura-feijoo_1_10548710.html>; “Por qué el conservador Alberto Núñez Feijóo no será presidente del gobierno en España pese a haber ganado las elecciones (y qué pasa ahora),” 2023.9.29. BBC News Mundo website <<https://www.bbc.com/mundo/articulos/cprxd40pqqzo>> なお、PP は VOX と連立を組んでも 169 議席と過半数の 176 議席に届かず、政権樹立には他の小規模政党の支持が必要であったが、分離主義に対し厳しい姿勢を取る VOX と連立を組めば、カタルーニャやバスク等を拠点とする地域政党から支持を得ることが難しくなると見られていた。「スペイン第 1 党 PP が連立協議開始、交渉難航も」2023.7.25. ロイターウェブサイト <<https://jp.reuters.com/article/world/1-idUSKBN2Z41MY/>>

¹⁷ “El Rey propone a Pedro Sánchez para que intente formar gobierno tras el fracaso de Feijóo,” 2023.10.3. La Vanguardia website <<https://www.lavanguardia.com/politica/20231003/9271415/re-y-propone-pedro-sanchez-intente-formar-gobierno-fracaso-feijoo.html>>

¹⁸ 「スペイン、サンチェス首相統投 カタルーニャ独立派に恩赦で支持獲得」2023.11.16. 朝日新聞ウェブサイト <<https://www.asahi.com/articles/ASRCJ76G5RCJUHBI00S.html>>

¹⁹ 例えば、PSOE については、次を参照。“El 87,13% de la militancia del PSOE apoya los pactos de Sánchez para lograr la investidura,” 2023.11.4. elDiario.es website <https://www.eldiario.es/politica/87-13-militancia-psoe-apoya-pactos-sanchez-lograr-investidura_1_10657656.html>

²⁰ “Pedro Sánchez es investido presidente del Gobierno de España con 179 votos a favor,” 2023.11.16. euro news website <<https://es.euronews.com/2023/11/16/pedro-sanchez-es-investido-presidente-del-gobierno-de-espana-con-179-votos-a-favor>>

²¹ 伊藤裕規子「第 3 次サンチェス内閣が発足、独立問題解決に向けた布陣」『ビジネス短信』2023.11.24. 日本貿易振興機構（ジェトロ）ウェブサイト <<https://www.jetro.go.jp/biznews/2023/11/45af0880c2ce17a0.html>>

²² COALICIÓN PROGRESISTA: *Un nuevo acuerdo para España*, 2019. Partido Socialista Obrero Español website <<https://www.psoe.es/media-content/2019/12/30122019-Coalici%C3%B3n-progresista.pdf>>; *España Avanza: Una nueva coalición de Gobierno Progresista*, 2023. The conversation website <https://cdn.theconversation.com/static_files/files/2882/acuerdo_gobierno_coalicion_2023.pdf?1698669226>; “Luces y sombras del acuerdo PSOE-Sumar: fiscalidad y empleo frente a la ambigüedad sobre el CGPJ,” 2023.10.24. Público website <<https://www.publico.es/politica/luces-sombras-acuerdo-psoe-sumar-fiscalidad-empleo-frente-ambigüedad-sobre-cgpj.html>>

²³ “PROTOCOLO DE FUNCIONAMIENTO, COORDINACIÓN, DESARROLLO Y SEGUIMIENTO DEL ACUERDO DE GOBIERNO PROGRESISTA DE COALICIÓN PSOE Y UNIDAS PODEMOS,” [2020.1.8.] Partido Socialista Obrero Español website <<https://www.psoe.es/media-content/2020/01/080120-Protocolo-funcionamiento-acuerdo-coalici%C3%B3n.pdf>>; Alexis Romero, “Sumar pide al PSOE constituir ya la comisión de seguimiento de la coalición,” 2024.2.5. Público website <<https://www.publico.es/politica/sumar-pide-psoe-constituir-comision-seguimiento-coalicion.html>>

²⁴ Romero, *ibid.*

令和 7 年 8 月 15 日
調査及び立法考査局
政治議会調査室・課

スペイン議会の選挙制度

1 下院の選挙制度

下院議員は定数 350 人、任期 4 年で解散があり、選挙権年齢・被選挙権年齢は共に 18 歳である。

(1) 下院の選挙区

下院議員の選挙区は、原則として県単位で、まず 50 県に選挙区定数 2 人が配分される。別に、2 つの自治市に定数各 1 人が配分される。議員定数の残余 248 人は、人口に比例して各県に追加配分される（表 1）。

表 1 スペイン議会下院の選挙区（2023 年総選挙現在）

種別	選挙区定数	選挙区数	対象地域
大選挙区	2～37	50 区	50 県（47 本土県+3 島嶼（しょ）県）
小選挙区	1	2 区	2 自治市 ^(注)
総計	350	52 区	

(注)「自治市」は、アフリカにある飛び地で独自の特別自治権があるセウタ市とメリリヤ市である。

(出典)“Resultados Provisionales Congreso España.” <<http://www.elecciones.mir.es/resultadosgeneral-es2023/assets/files/congreso.pdf>> 及び法令の規定を基に担当者作成。

(2) 下院議員の選出方法

下院議員の選挙制度は、原則として県単位の拘束名簿式比例代表制であり、得票数 3%未満の候補者名簿を議席配分の対象外とする阻止条項がある。

2 自治市は、最多得票者を当選人とする単純小選挙区制で議員を選出する。

2 上院の選挙制度

上院議員は任期 4 年で解散があり、選挙権年齢・被選挙権年齢は共に 18 歳である。上院議員は直接公選議員と自治州任命議員に分かれる。現在のの上院の総議員数は 266 人である。直接公選議員と自治州任命議員の各定数については、(1)・(3) 参照。

(1) 直接公選議員の選挙区と定数

直接公選議員は、原則として本土県（選挙区定数 4 人）を選挙区とする。その他、大島嶼（同 3 人）、自治市（同 2 人）、小島嶼（同 1 人）も選挙区となる（表 2）。直接公選議員の定数は、合計 208 人となる。

表 2 スペイン議会上院の直接公選議員の選挙区

種別	選挙区定数	選挙区数	対象地域
大選挙区	4	47 区	47 本土県
	3	3 区	3 大島嶼 ^(注)
	2	2 区	2 自治市
小選挙区	1	7 区	7 小島嶼
選挙区総計		59 区	

(注) この表の 3 大島嶼は、表 1 の 3 島嶼県と区域が異なる。

(出典) 法令の規定を基に担当者作成。

(2) 直接公選議員の選出方法

直接公選議員の選挙制度は、原則として大選挙区制限連記制であるが、選挙区定数に応じ、単記と連記の別があるほか、連記可能な候補者数も異なる（表3）。

表3 ス페인議会上院の直接公選議員の選挙制度

選挙区定数	投票方法	選挙制度	当選人の決定方式
4 (47区)	3人連記	大選挙区制限連記投票制	相対多数代表
3 (3区)	2人連記		
2 (2区)		大選挙区完全連記投票制	
1 (7区)	単記	単純小選挙区制	

(出典) 法令の規定を基に担当者作成。

(3) 自治州任命議員の選任方法と人数

自治州任命議員は、自治州議会（自治州議会がないときは自治州最高合議機関）が自治州法に基づき選任する。各自治州議会は、1人に当該自治州の住民100万人ごとに1人を加えた人数の上院議員を選任する。したがって、自治州任命議員は定数がなく、人数が人口異動で増減する。2023年総選挙では、17の各自治州議会が上院議員1～9人を選任し、現在の自治州任命議員の人数は合計58人となっている¹。

【参考文献】

- ・政治議会調査室・課『諸外国の下院の選挙制度』（調査資料 2015-1-c 基本情報シリーズ 22）国立国会図書館調査及び立法考査局, 2016, pp.13-14. <<https://doi.org/10.11501/9917795>>
- ・藤原佑記「主要諸外国の上院議員の選出方法—地域代表と一票の格差をめぐって—（資料）」『レファレンス』862号, 2022.10, pp.85-87. <<https://doi.org/10.11501/12356627>>

¹ “Cuadro de evolución del número de Senadores designados por cada Comunidad Autónoma desde I a I Legislatura,” 2024.12.3. Senado de España website <<https://www.senado.es/web/conocersenado/temasclave/composicionseadoelecciones/detalle/index.html>>